

## 西淀川記憶あつめ隊

Vol.17

2016年6月30日  
聞き取り

香川 婦美子 さん

香川婦美子さんは柏里商店街にある丸徳寿司のおかみさんです。婦美子さんが取り組んでいる地域活動についてお話を伺いました。



香川ご夫妻でばちり

## ◆きつかけはPTA

婦美子さんは1982年の結婚を機に西淀川にやってきました。現在は、柏里地域活動協議会の副会長を務めています。「地域活動を始めたきっかけはPTA活動。柏里小学校で女性初のPTA会長になりました」とのこと。名刺には「法務省人権擁護委員」「西淀川区生涯学習推進区民会議会長」「柏里小学校学校協議会会長」などの肩書がずらり。「毎日忙しくて、朝昼晩と1日に3回も会議が入ることもあるのよ」と多忙な日々についてお話ししてくれました。



ランチのお寿司は780円で赤だしまたはうどん、茶碗蒸しが付きます

## ◆子どもが大好きですぐに友達に

柏里小学校6年生の卒業記念の体験授業は婦美子さんの提案です。抹茶を立てて練り切りのおまんじゅうを食べる授業は「世間に出てお茶の席に呼ばれた時に、一度体験していると自信になるもの」という理由での提案でした。授業などで子どもに触れ合う機会が多い婦美子さんは「子どもたちが町であつたら挨拶してくれることがうれしくて。それが一番大事だと思うの」と笑います。地域のお母さんに子育ての悩み相談されることも多いとか。「昔は商売している人がPTAの役員をすることが多くて、この商店街の皆さんも会長をやっていたのよ。昔は祖母や祖父、近所の人の子どもを見てくれたおかげで、息子たちは人見知りしないし、対人関係の楽しさを知っている。今は核家族で大人もどうやって人と接していいかわからない人が多いから、今は子育てでも大変やと思う

わ」と、子育てと時代の変化を語ってくれました。

## ◆地域活動を続けてきて

西淀川の特徴は何ですかとの質問には「地域活動でつながった人とのつながりの濃さ」という答えが返ってきました。活動を続けてきたことで様々な分野の人と出会って、学びの機会があり、「困ったことがあつたら、それやったらあそこに行つたらいいよとか、この人がいいよとか、いろんな人を紹介してつなげることができると教えてくれました。また「人を見る目は積み重ねでわかってくる」とも。「大人になつてからたくさん学んだわ。普通の主婦だったら、知らなかったし、知りあえなかった」と地域活動の醍醐味が伝わってきました。

## ◆キーワードは「楽しい」

地域のコーディネーターとして、いろいろな企画運営について「一つがうまく動きだすとす



丸徳寿司 (TEL 06-6474-0066)

ごく楽しい。知らなかったことを知ると楽しい。知っていることを企画しても人は喜ばなくて、私が知らないことを学ぶとみんな楽しい」と企画の妙を教えてくださいました。「楽しんで活動が続いているから根付いているのよ」とも。活動について家族の理解について尋ねると「旦那に学んだことを伝えると『そうなんや』と話を聞いてくれる。旦那も東淀川高校の野球部監督を長年やっていて、監督をやるために時間に自由がきく売人になったの。お互い支えあっている似たもの夫婦なのよ」と教えてくれました。婦美子さんの太陽のような笑顔に癒されたインタビューでした。●林